

令和3年12月23日
四国電力株式会社

伊方発電所3号機 第15回定期検査の工程見直しについて

伊方発電所3号機（定格電気出力89万キロワット）は、定格電気出力による調整運転において、復水器の水室内（細管）の入口と出口における海水圧力の差が従前より高くなっていることを確認したことから、復水器水室の清掃作業を実施することとしました。

また、この作業のために発電機出力を一時的に下げる必要があることから、定格電気出力から定格熱出力一定運転への移行は作業終了後とし、今後の工程については、清掃作業の状況を踏まえて精査することとしておりました。

（12月10日お知らせ済み）

同清掃作業については、12月16日から実施しており、これまでの作業の進捗状況等を踏まえて工程を精査した結果、令和4年1月8日にすべての清掃作業が終了する見込みとなりました。

これを受けて、清掃作業終了後、定格熱出力一定運転へ移行し、当初1月4日に予定していた総合負荷性能検査を1月24日に実施して定期検査を終了（通常運転再開）する予定です。

当社といたしましては、引き続き、安全確保を最優先に、今後の作業に万全を期してまいります。

以 上